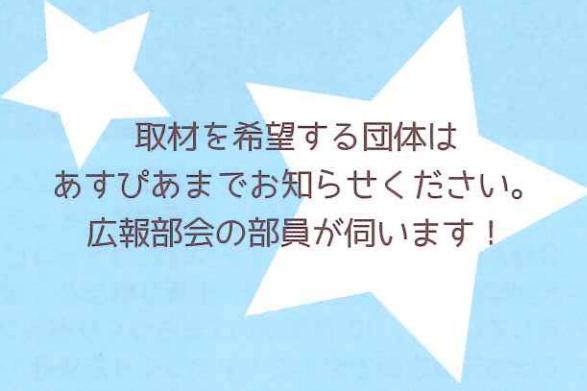


あすぴあ登録団体 & 市民活動団体の紹介

こんな活動を
しています

vol.
23

取材を希望する団体は
あすぴあまでお知らせください。
広報部会の部員が伺います！



ヘアドネーション ~ひとりでできるチャリティー~

毛髪を失って悩む人たちへのチャリティ活動として「ヘアドネーション」があります。がん治療薬の副作用や先天性の病気、事故などで髪の毛を失った子どもたちに、人毛100%の医療用ウィッグを無償提供する活動です。

3年ほど前、俳優の柴咲コウさんが長い髪を寄付して話題となったのを記憶している方もあるかもしれません。

日本では、NPO法人ジャパンヘアドネーション＆チャリティー(愛称:ジャーダック／大阪府)が、18才以下の子どもたちを対象に、毛髪の寄付を集め、選別・加工の工程を行ったのち、一人ひとりの子どもたちに合わせたウィッグを作り提供しています。

小平市でこの活動に賛同している美容院は2か所。そのひとつ、学園東町のクーランクール(courantetcool)さんに伺って取材しました。

店長の松井さんによれば、ヘアドネーションを

小平日本語ボランティアの会・ 小川西町 あすぴあ登録団体

小平市内に暮らす5000人ほどの外国籍の在勤や留学生の方々を対象に、気楽に日本語を使える場を作っている会です。伺った日は、子どもの日の行事日。兜や鯉のぼりが飾られ、新聞紙で作った兜も用意されていました。

19時ぴったりに学習者(利用者)が入室すると、この字型に並んだ机の内側の席に直行。外側の席に座っている会のメンバーが迎えてくれます。「初めまして」と始まるペアや「引っ越しは決まったの?」と



学習の様子。
入口に立っている方が佐藤さん

付き合いが長そうなペアなど、それぞれの席で日本語でのおしゃべりが始まります。

この日、代表の佐藤さんはペア決めや、休憩時用のお茶や柏餅を並べたりタイムキーパーをしたりと忙しそうでした。カリキュラムどおりに学ぶ日本語学校とは違い、一人ひとりの具体的ニーズに沿った内容に対応するためにも、会の運営やその日の流れをしっかりとつらんでいるという印象です。学習タイム(19時から20時30分)の前後15分をメンバーの打ち合わせや提案、情報共有の場にしているところはさすが。行事を行う日も担当者がてきぱきと動けます。

休憩時間に入ると「まず食べましょうよ」とお誘いの声。「柏餅は葉を食べませんよ。皆さんの国に、子どもの日はありますか」。中国、ベトナム、アメリカなど、お国事情を知る機会になります。ウクレレの伴奏でこいのぼりの歌を歌った後は記念撮影。みんな新聞紙の兜をかぶって嬉しそうでした。

学習を観かせてもらうと……。転勤が決まっているという男性は、形容詞の微妙な違いについて説明を受けていました。ノートを作って勉強しています。大学院生だという女性はもっと日本語でおしゃべりしたい、と言いました。村上春樹を読んでいて驚きました。

語学を扱うのは……と難しく考えそうですが、学習者の熱意を感じられ、また自分の日本語を見直すきっかけになるというちょっと刺激的な場でした。ボランティアをしてみませんか?



DATA

活動日●毎週水曜日 19時から
会費●月200円(会員・学習者同額)
場所●小川西町公民館
連絡先●080-1168-5831(佐藤代表)
ホームページ●<http://knvg.sakura.ne.jp>



ほのぼのタオル帽子の会

抗がん剤治療をしている患者さんたちに、タオル帽子をつくりて差し上げる活動を続けているボランティア団体の人たちにお話を伺いました。

ほのぼのタオル帽子の会は、小平市社会福祉協議会西部ボランティアコーナー(ほのぼの館内)主催の講習会参加者のうち有志3人が立ち上げて8年目になります。定例会は2か月に1回開かれ、自宅でつくったタオル帽子や小物を持って集まります。近況を話しつつ、「病院に届けるのは3か月に1回位がいいのでは」「濃い色のタオルは縫い目が見えにくくて作業が手間取るけど、こういう色が好きな人もいるから」((おぼろタオルの帽子を見て)夏はこういうタオルが涼しくてよさそうね)「帽子だって集中して2、3時間はないとできないわ」「私は1日時間が空いている日につくる」などと次々に話が交わされます。

会員には、講習会に参加して入会した人、主旨に賛同した人、カフェでチラシを見てボランティアをしたいと入会した市外の人もいます。



寄付された柄ものタオルはそのまま使い、白

いタオルは染めて使います。染めの作業はほのぼの館に隣接する「たいよう福祉センター」で障がいのある方たちが染めています。家族は、子どもたちの作業が社会貢献活動につながることをうれしく思っているということでした。

タオル帽子を昭和病院や立川病院等へ持っていく、看護師さんから希望する患者さんへ手渡されます。このようになるまでには、会のみなさんと西部ボランティアコーナーの職員の努力がありました。今では、昭和病院内にできた地域医療連携室にアンケートと作成したタオル帽子が置かれています。また会では、昭和病院に入院した患者さん対象のタオル帽子講習会を開いて喜ばれたこともあります。

★会では年間を通じて、未使用タオルを募集しています。

DATA

問合せ先●西部ボランティアコーナー
住所●〒187-0035 小平市小川西町5-39
電話●042-347-7858
会員●6人



駅から続く商店街の中、かわいいらしい薄いピンクの外装が目をくinker美容院クーランクール

DATA

連絡先●美容院クーランクール
住所●〒187-0043 小平市学園東町3丁目3-11
電話●042-345-8122
ジャーダックのホームページ●<https://www.jhdac.org/index.html>